

氏名 (ふりがな)	段 亜梅 (だん あめい)
所属・職位	保健福祉部看護学科・准教授
最終学歴	金沢大学大学院医学系研究科修士課程修了
学位	保健学修士
免許・資格	看護師, 保健師
連絡先	TEL: 01654-2-4194 ( 3121 ) FAX: 01654-3-3354 E-mail: dym@nayoro.ac.jp (メールを送る際にはjpg を.jp に変更して下さい) URL: 研究室所在地: 本館 1階

専門分野	高齢者・リハビリテーション看護学
主な担当科目	老年看護学活動論, 老年看護学実習, 卒業研究
主な研究テーマ	1. 高齢者のADL・QOLに関する研究 2. 老年看護学教育のあり方に関する研究 3. 介護施設における看護のあり方に関する研究 4. 東南アジアにおける高齢者の健康課題に関する国際比較研究
研究キーワード	高齢者, 日常生活動作, 転倒予防, 健康課題, 国際看護
主な著書・論文 (最近5年間)	(分担執筆著書) 1. 高橋フミエ,小竹久美子,若倉健,葛西好美,境恭子,三村幸子,東久子,段亜梅,三好智美,久良木薫. 退院支援と在宅ケアへーライフサポートとしての看護実践能力をめざしてー, 樋口キエ子. 『退院支援から在宅ケアへ』, 筒井書房, 2010:149 - 155 (論文) 1. 段亜梅,俵友恵,FengXia,ZhangMingzhu. 中国上海市内における福祉施設で生活している高齢者の健康課題ーBMI・体脂肪率・基礎代謝量・内臓脂肪レベル・骨量を中心にしてー. 兵庫大学論集,2011:16: 117-124 2. 式恵美子, 段亜梅. 老年看護学実習における介護施設の現場指導者が考えた学生の実習課題. 兵庫大学論集. 2010:15:59-66 3. 段亜梅, 井上清美,市村由美子. 日本の高齢社会健康・福祉対策の実態から中国への示唆について. 中華医院管理雑誌. 2008:24(2):140-142 4. 段亜梅,泉キヨ子,平松知子. 施設高齢者における転倒予防自己効力感の測定ー日常生活動作別の分析と関連要因ー. 日本老年看護学会誌. 2006:10(2):41-50 5. 太田喜久子,中島紀恵子,高橋龍太郎, 奥野茂代,小野幸子, 牛田貴子, 段亜梅他. 平成 21-22 年度報告書ー介護施設の看護師におけるケア管理に関する調査研究事業(全 110 頁). 日本老年看護学会. 2011
外部獲得資金 (最近5年間)	1. 平成 20-21 年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金 (老人保健健康促進等事業), 厚生労働省, 介護施設の看護師におけるケア管理に関する調査研究. 研究分担者 2. 平成 22 年度神戸常盤大学研究補助金, 病棟看護師が外国患者をケアする上で感じたこと, およびその対応に関する研究. 研究分担者
学会活動	1. 日本老年看護学会 2. 日本看護科学学会 3. 日本看護研究学会 4. 日本国際保健医療学会 他
社会貢献	<委員会など> <講演など> 「身体可動性障害のある人の看護」(看護師・介護士対象) など
受賞	

コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老年看護学の専門領域でお役に立てるよう努めていきたいと思っております。</li> <li>・日中両国の架け橋になり、専門領域において両国間の理解を深めるよう生涯努力したいと思っております。</li> <li>・東南アジアにおける老年看護学の特徴を探求し続きたい。興味のある方がぜひ気軽に声をかけてください。</li> </ul>
------	--